

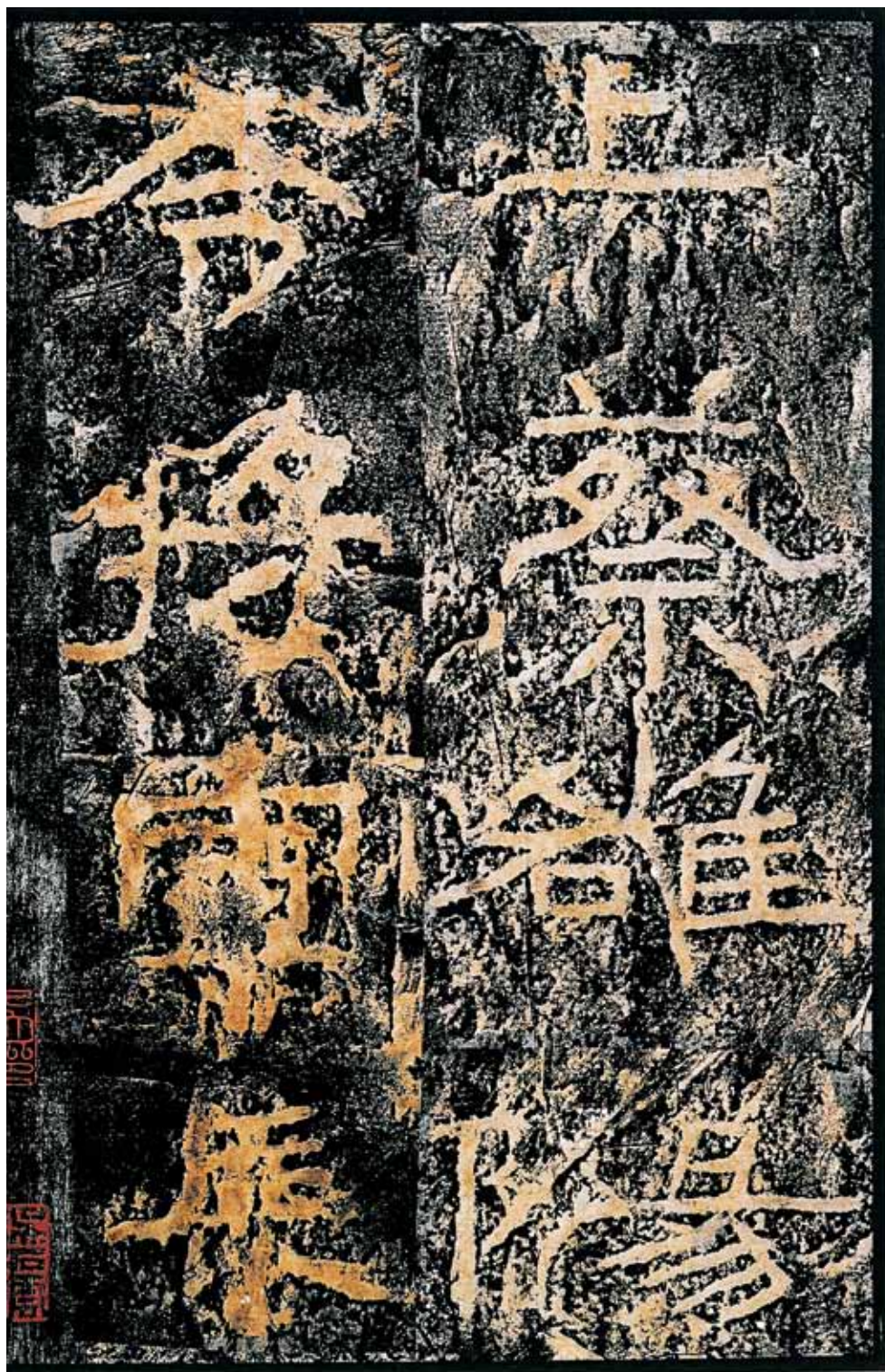
書 の 道

漢楊淮表紀（一七三年） 上蔡雄陽令將軍長

No.481

令和2年 9月号

- 漢楊淮表紀
（173年）
- 唐太宗の書
 - 温泉銘
 - 晋祠銘



前5～4世紀
石鼓文



632年
九成宮醴泉銘



522年
張猛龍碑



511年
鄭義下碑



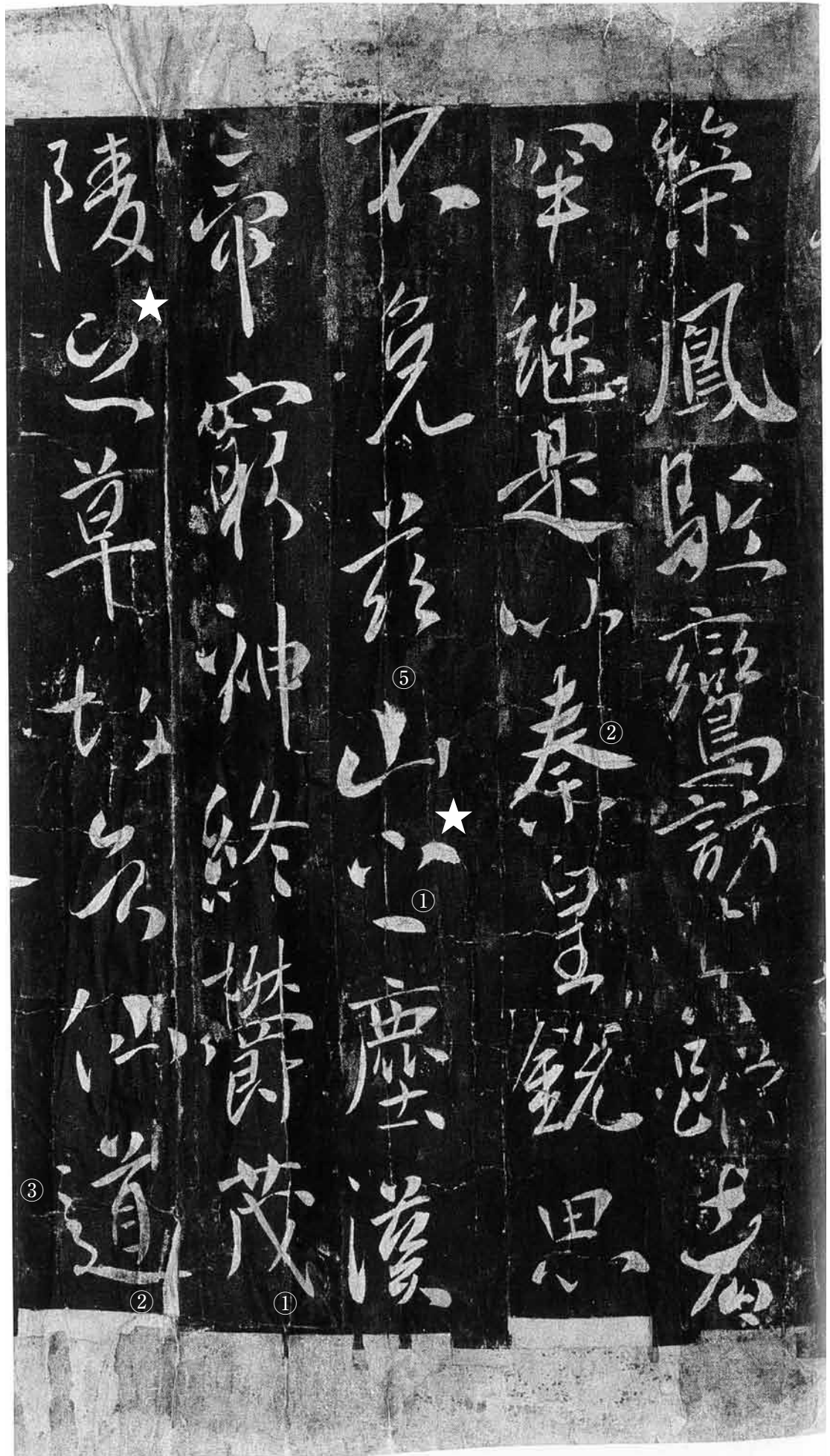
185年
曹全碑



171年
西狹頌

⑥節筆とおもわれる部分

策鳳驅鸞、訪其蹤者罕繼。是以秦皇銳思、不免茲山之塵、漢帝窮神、終鬱茂陵之草。故知仙道



晋祠銘との比較

(其)



(神)



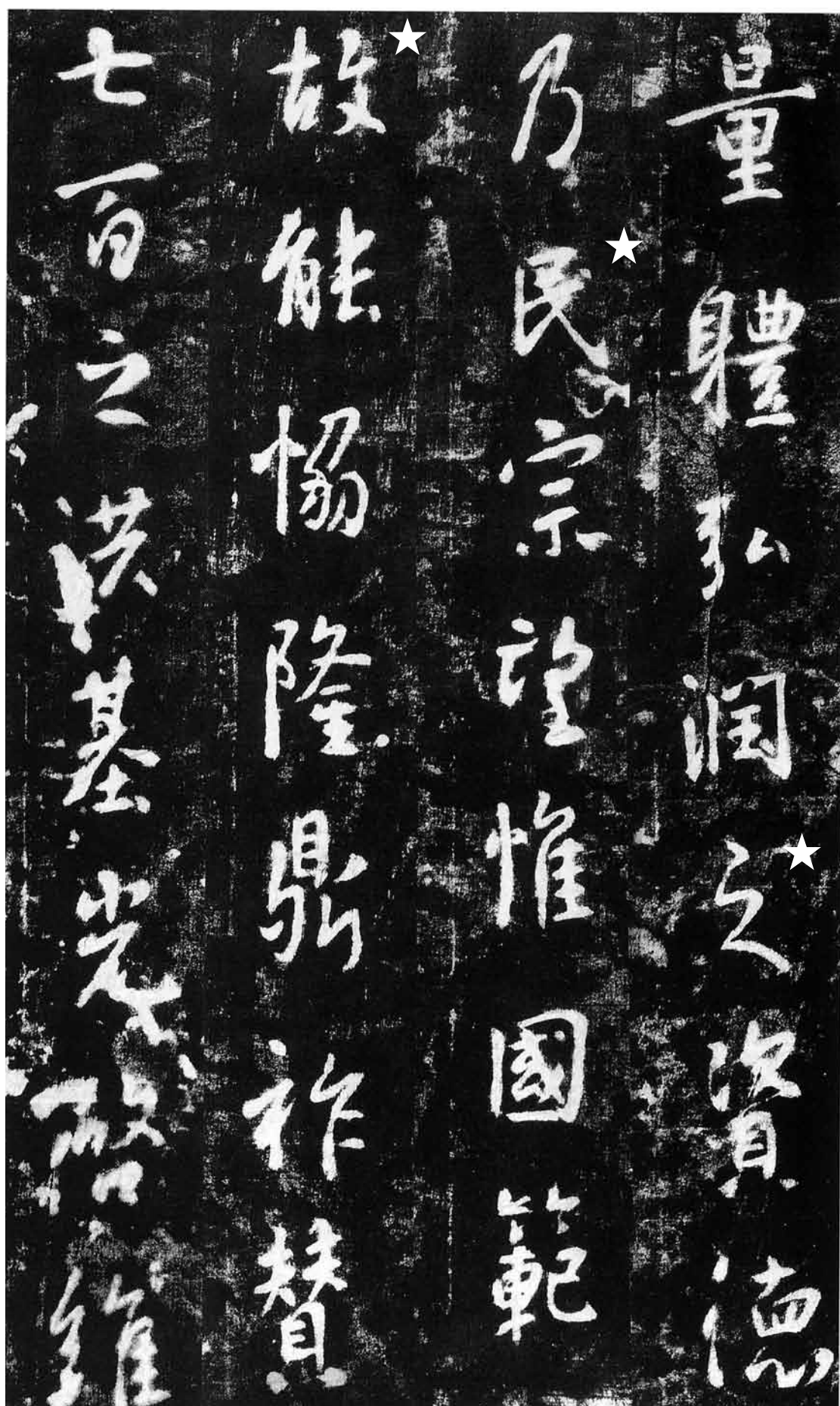
(之)

晋祠銘、温泉銘ともに、唐の太宗皇帝が揮毫したもの。基盤となる造型は似ているが、呼吸、スピードに違いを感じる。相違を考察すると皇帝の人柄が浮かびあがるようにロマンを感じることが出来る。(篤)

※①波磔などの右に伸びる線を短く処理

②長い波磔に見える不自然な線

③しんじょうの表現



温泉銘との比較

(之)



(民)



(故)



「民」は唐太宗（李世
民）の名前の一部であり、
欠画をつかっていないの
で太宗本人の書となっ
ている。（大琳）



2020
9
September

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

夢を
みようよ
明日の夢を

